

1年の振り返りと新たな一歩に向けて

副校長 上野 哲

寒さの中にも春の兆しを感じられる季節となりました。保護者の皆様、福祉園職員の皆様、日頃より本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、今年度以下の取組を重点的に進めてまいりました。

1 安全で安心な教育環境の整備

本校では、毎月第3週を「事故防止週間」と定め、校内の諸会議にて児童・生徒の情報を共有すると共に、事故防止に向けてヒヤリハット・アクシデント報告の活用を行ってきました。また、総合防災訓練や避難訓練、不審者対応訓練など、多様な訓練を実施し、児童・生徒の安全に関する知識や技能などの習得に向けて取り組むだけでなく、教職員の有事の際の対応力強化にも努めました。これらの取組は保護者、福祉園職員をはじめ関係機関の皆様とも緊密に連携を図りながら取り組むことができました。

2 社会に開かれた学校づくりの推進

地域資源や外部人材の活用を進め、教育活動や学校情報などの積極的な発信による理解啓発を推進しました。高等部においては、帝京大学教育学部初等教育学科との連携により、学生と本校生徒が共同で販売活動を行い、地域社会との交流を深めました。また、企業や地域の福祉事業所と連携し、卒業後の就労や社会参加を見据えた実践的な学びを充実させるための取組も推進しました。

3 教職員の専門性向上及びミドルリーダー育成の推進

知的障害教育の専門性及び授業力の向上を目指し、教職員の研修を充実させました。また、デジタル技術活用力の向上を図り、ICTを活用した授業の充実にも努めました。加えて、特別支援教育におけるアクティブ・ラーニングの手法を取り入れ、児童・生徒が主体的に学びに取り組む機会を増やしてきました。

こうした取組を通じて、児童・生徒一人一人が「自分らしく社会の一員として生きる力」を育むことができるよう、学校全体で支援を続けてまいりました。

3月は卒業式や学年のまとめなど、1年間の締めくくりとなる学習・行事が多く、子どもたちの成長を実感できる機会がたくさんあります。一人一人が自分の成長を振り返りながら、新たな一歩を踏み出せるよう、学校全体で支えていきたいと考えています。

引き続き、皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

高等部生徒会選挙

主幹教諭 川中 舞

2月12日に高等部で、来年度の生徒会役員を選出する選挙が行われました。今年度の立候補者は1年生4人、2年生3人でした。1年生は、副会長、書記ともに2名ずつ立候補者が出そろい、2年生は信任投票となりました。選挙の受付が終わると、ポスター作りやタスキ作り、選挙演説の原稿作りで大忙しです。選挙活動が始まると、立候補者や推薦人ではない生徒も、一丸となって応援する姿がありました。活動ができる昼休みは、あちこちから「清き一票をよろしくお願いいたします!!」と候補者、推薦人の声が聞こえてきます。1年生にとっては初めての経験だと思いましたが、候補者を応援しようと学級が一丸となって活動している姿が見受けられました。選挙演説では、「朝の挨拶運動」をしている先輩の姿を見たり「日野高校との生徒会交流」の報告を聞いたりしたことで、生徒会役員の仕事に興味をもった、などと話していました。先輩の良き姿が、高等部の伝統として引き継がれることに期待します。結果は、翌日のお昼の放送で発表されました。選挙に出ようと決心して、みんなと一緒に戦った選挙は、生徒を一回りも二回りも成長させてくれたことと思います。